

診療科の概要

皮膚科は、昭和32年12月に皮膚泌尿器科として開設され昭和37年8月に独立、その後平成16年3月まで続きましたが、同年4月から平成22年9月まで閉鎖されておりました。しかしながら平成22年10月、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医が就任となり、診療が再開されました。平成23年6月から皮膚科専門医研修施設として機能しています。

市内の開業医療機関、旭川医科大学皮膚科と連携し、情報交換を行いながら質の高い医療提供に努めている他、市外医療機関からの診療依頼も積極的に受け入れています。

当科は、急性期医療を担う機関の一員としてその役割をない、重症薬疹、皮膚軟部組織感染症（壊死性）、外傷、熱傷などを他科とも連携しながら対処しています。また、日本皮膚科学会から分子標的薬使用承認施設に認定されており、適応（下記）のある患者さんに必要に応じて導入を行なっています。さらに、弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターのに認定を受けたスタッフが外来に揃っていますので、静脈・リンパ環流障害による皮膚疾患にも積極的に対応しています。

道北医療圏において、皮膚科重症患者への対応が可能な施設は限られています。当科スタッフはその使命を受けて、診療に取り組んでいます。

主な対象疾患

○全身症状（発熱、倦怠感、体重減少など）をともなう皮膚疾患：膠原病、血管炎、悪性リンパ腫感染症などが含まれます

○皮膚悪性・良性腫瘍：手術を主体に、炭酸ガスレーザーや外用薬なども使用した治療を行っています

○重症のアトピー性皮膚炎、乾癬、掌跖膿疱症、壊疽性膿皮症、慢性膿皮症：分子標的薬の導入・維持に加え、慢性膿皮症については手術療法も実施している

○慢性皮膚潰瘍：ASO、静脈性潰瘍、糖尿病性潰瘍など

○帯状疱疹：重症患者に対する入院治療、痛みの治療（神経ブロックを含めた麻酔科的な対応はしていません）、発症予防のためのワクチン接種（条件があるため、希望される皆様すべてが任意接種できるわけではありません）

治療方針

1. 患者個々の特性に合ったゴールを目指す
2. 患者個々の病態解明に努める
3. 根拠に基づいた治療を標準とする

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
きのうち もとし 木ノ内 基史	専門分野：皮膚科
院長補佐	皮膚科専門医
部長	
りふあんひ 李 歡喜	専門分野：皮膚科
医師	

診療予定表

初診（8:00～11:30）

月	火	水	木	金
木ノ内	木ノ内	李	木ノ内	木ノ内
李	李			(李)

*木曜日は手術のため、入院・外来の診察申込（紹介）はお控えください。（緊急時を除く）

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	619
外来延数	8,014
新入院数	112

主な手術実績

項目	件数
創傷処理	41
小児創傷処理	2
皮膚切開	92
デブリードマン	41
皮膚腫瘍摘出術（露出部）	30
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）	33
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）	5
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	12
分層植皮術	17
全層植皮術	3
自家皮膚非培養細胞移植術	2
皮弁作成術，移動術，切断術，遷延皮弁術	3
慢性膿皮症手術（単純）	1
断端形成術（骨形成を要す）（足・指）	2
爪甲除去術	1
陥入爪手術（簡単なもの）	1
足底異物摘出術	1
毛巣洞手術	1
合計	288

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科